

<スポーツ庁委託事業>

令和4年度 地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト
成果報告書



府民文化部 文化・スポーツ室 スポーツ振興課

令和5年3月

1 背景

- 地域住民のスポーツ参画を進めるためには、誰もが、気軽に・いつでも・どんなスポーツでも、楽しめる環境の整備が必要
- しかしながら、人口減少や少子高齢化が進み、総合型地域スポーツクラブといった地域スポーツ関係団体の担い手不足、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域スポーツコミュニティの維持は喫緊の課題

2 目的

- 行政だけでなく、大学、民間企業など様々な主体の取り組みが必要 => **地域における連携体制の構築**
- 地域のスポーツ環境を「つくり」、次世代のスポーツの担い手となる人材を「はぐくみ」、それぞれの強みを活かし「つながる」**時代の変化に対応した新しい形の地域スポーツコミュニティの形成**



行政だけではない連携体制の構築、新しい形の地域スポーツコミュニティの形成により
地域住民のスポーツ参加を促進するための環境整備に取り組む

3 概要

○ 実施体制

**大学を核に、先進的に地域連携に取り組む府内2地域を重点地域に選定
大阪府が加わることで、相乗効果を発揮し、連携体制の構築・強化を図る**

大阪狭山市×
桃山学院教育大学

熊取町×
大阪体育大学



○ 事業コンセプト

- ・ 地域に開かれた大学として、大学等の地域資源を活用しながら、気軽にスポーツに楽しめる機会・場を創出
それにより、人々をつなぎ、楽しめるスポーツの力を通じて、持続可能な健康まちづくりの推進
- ・ 府内16のトップスポーツチーム等で構成する大阪スポーツコミッションを活用し、より質の高い「する」「みる」機会の提供

○ 具体的な取組内容

【地域・大学・行政が連携した、スポーツを通じた地域課題の解決につながる、スポーツを楽しめる機会の創出】

- ① 「大阪狭山市×桃山学院教育大学」地域 「親子でワクワク!! 投げ方教室 & ボール遊びフェスタ」の開催
- ② 「熊取町×大阪体育大学」地域 「浪商学園100周年OUHSスポーツキャンプ」との連携プログラムの実施
- ③ ダンス等の要素を取り入れた運動プログラムの制作・提供

【連携体制の強化・事業の効果検証】

- ④ 地域スポーツコミュニティ形成・基盤強化事業 合同検討会議

① 「大阪狭山市×桃山学院教育大学」地域「親子でワクワク!! 投げ方教室&ボール遊びフェスタ」の開催

- 府、大阪狭山市、桃山学院教育大学、総合型地域スポーツクラブの「桃教スポーツアカデミー」及び「大阪狭山スポーツクラブ」による検討会議の設置・開催を通じて、地域における連携体制を構築し、地域の課題を共有。
- コロナ禍の影響による運動・スポーツの機会減少に伴う体力の低下（全国体力・運動能力調査結果）、とりわけボールを投げる力の低下の状況を踏まえ、ボールを使ったスポーツの楽しさが体感できる内容を実施。
- 参加者に対するアンケートを行い、課題と内容を検討するため有識者による分析、考察を行った。

投げ方教室



大阪ラヴィッツ（大阪スポーツコミッション構成チーム）の協力のもと、コーチ、選手によるボールの投げ方を基本から指導。

ボールの投げ方教室 & ボール遊びフェスタ

参加無料

開催日時：令和5年2月4日(土) 13:00~16:00

開催場所：桃山学院教育大学 人工芝グラウンド

ボールの投げ方教室

参加無料

開催日時：令和5年2月4日(土) 13:00~16:00

開催場所：桃山学院教育大学 人工芝グラウンド

ボール遊びフェスタ



〈ハンドボールシュート体験〉
大阪ラヴィッツ協力のもと、選手たちと一緒にシュートに挑戦。



〈フレスコボール体験〉
関西フレスコボール協会協力のもと、日本代表選手らの指導による、親子で参加でき、ラリーを続ける思いやりのスポーツを体験。



〈バルシューレ体験〉
大阪狭山スポーツクラブ協力のもと、ボールを使ってゲームを楽しみながら球技に必要な基礎的な技能が身につく運動プログラムを体験。

【考察】

アンケート結果から全般的に参加者の満足度が高く、同地域でのスポーツイベントのニーズが高いことが明らかとなったが、その一方で居住地周辺のスポーツ環境については多くの方が不十分と感じていることも判明した。

② 「熊取町×大阪体育大学」地域 「浪商学園100周年OUHSスポーツキャンプ」との連携プログラムの実施

- 大阪体育大学、熊取町、大阪府による検討会議を設置・開催し、大学と行政との連携体制を構築。地域の課題を共有して以下のプログラムを実施。
- 大学が行うスポーツ体験や健康づくり教室事業等と、大阪府が連携し、幅広い年代の方に体験していただけるプログラムを実施。
- 参加者に対するアンケートを行い、課題と内容を検討するため有識者による分析、考察を行った。

大阪府連携体験プログラム内容



〈車いすバスケットボール体験〉

東京2020大会出場の網本麻里選手指導のもと、誰もが個人の特性に応じてスポーツの楽しさを体験できる機会を提供



〈キックターゲット体験〉

FC大阪（大阪スポーツコミッション構成チーム）協力のもと、高いレベルのスポーツに触れられる機会を提供



・防災知識トレーニング



・レスキュータイムアタック



・キャットサイクルレース



〈防災スポーツ〉

株式会社シンの協力のもと、スポーツを通じて防災について楽しく学べる機会を提供

【考察】

- ・当日配布したスタンプラリーカード

アンケート結果から「楽しく体を動かすことができた」「スポーツを始めたいと思った」「新しいスポーツを知ることができた」といった回答が多く、本イベントがスポーツを始めるためのきっかけ作りとして有効である可能性が示唆された。

③ダンス等の要素を取り入れた運動プログラムの制作・提供

○桃山学院教育大学のダンスチーム（BEATS）協力のもと、ダンスの要素を取り入れた誰もが気軽に楽しみながら参加できる運動プログラムを制作し、以下のとおり府内2か所で提供。

●大阪府主催

「OSAKA SPORTS PROJECT EXPO」

（2月18日）



●大阪体育大学主催

「浪商学園100周年記念OUHSスポーツキャンプ」

（2月25日）



●スポーツ実施率が低く、普段運動不足を実感している働き盛りや、子育て世代を中心に、老若男女や障がいの有無に関わらず、幅広い方々が楽しみながら参加。

④地域スポーツコミュニティ形成・基盤強化事業 合同検討会議

○桃山学院教育大学、大阪体育大学からの地域貢献の取組みや、本事業の取組みの報告

○府外で地域・企業等が連携したスポーツによるまちづくりに取り組む、片野氏（福知山ユナイテッド）による実践事例報告

○今後の事業実施に向けての課題共有、意見交換

【考察】

●地域での実践事例や本事業での取組内容、スポーツを通じたまちづくりの取組みを継続していくための課題を共有することができた。



まとめ

- アンケート結果等からも、子ども・保護者とともにイベント参加者の満足度が高く、地域におけるスポーツイベントの実施ニーズが高いことが改めて明らかになった。
- 一方で、居住地周辺のスポーツ環境については、多くの方が不十分と感じていることや、親世代をはじめとして、運動習慣化が定着していないことも課題として浮き彫りになり、**住民に身近な地域において、親子でともに様々なスポーツを楽しめる機会の創出が必要。**
- その際、合同検討会議における議論でも明らかになったように、地域における持続可能なスポーツに関する新しい取組みを進めるためには、①多様な主体を巻き込みつつ、特に**民間企業等との連携**（ビジネスの観点）、②きっかけづくりとして、様々なスポーツを経験できる**多様な機会の提供**（マルチスポーツの観点）、③**継続的なデータの蓄積**（EBPMの観点）が重要。
- 今後も、本事業を更に継続・発展させ、**地域・行政・大学等の幅広い連携体制を構築し、子どもも大人も参加できる地域のスポーツ環境のあり方**について継続的に議論し、改善に向けた実践を重ねることが、地域スポーツコミュニティの形成にあたって重要。